

2008年度 学期 後期	曜日・校時	水曜日 1・3 校時	必修選択	選択	単位数	2
授業科目/(英語名)	日本語 IV Advanced Japanese IV					
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室	留学生センター	
対象学生(クラス等)	留学生・全学部		科目分類	留学生用科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 冨田美有紀 /Eメールアドレス:miyut@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 留学生センター二階 /TEL: 095-819-2240 /オフィスアワー:木曜日 3、4 校時 (他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:読む力(精読、速読)、話す力(発表)を向上させる。 授業方法: 読解、発表。 授業到達目標: 本文が理解できるようになるとともに、読解を通じて日本社会についての理解を深めることができるようになる。さらに、本文に関連した調査などを行い、調査結果などを分かりやすく発表できるようになる。						
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 偶数週に新聞などの記事の読解、読解問題、レポートの書き方の学習、レポート作成を行い、翌週に発表のしかたの学習、前の週に扱った記事に関連した発表の準備と発表をします。 第1回 オリエンテーション 第2回 第一課 第3回 第二課 第4回 第三課 第5回 第四課 第6回 第五課 第7回 第六課 第8回 中間試験、まとめ 第9回 第七課 第10回 第八課 第11回 第九課 第12回 第十課 第13回 第十一課 第14回 第十二課 第15回 まとめ(期末試験等を含む)						
キーワード						
教科書・教材・参考書	教材:『日本社会探検』架谷真智子・佐藤恵美・二村直美 共著、スリーエーネットワーク					
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な参加:20%、発表:20%、課題:10%、中間試験:20%、期末試験:30% ※出席:遅刻三回で欠席一回とみなします。					
受講要件(履修条件)	日本語能力試験2級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。					
本科目の位置づけ/学習・教育目標						
備考(準備学習等)						